

# 農地集積事例

農事組合法人「ゆめ野山」の活動について

---

理事 村井忠夫

# はじめに

## ◆ 組織概要

名称：**農事組合法人「ゆめ野山」**

設立：**平成26年12月**

構成地区：**山陰・表野・火打・大津・中町**  
地区からなる農事組合法人です

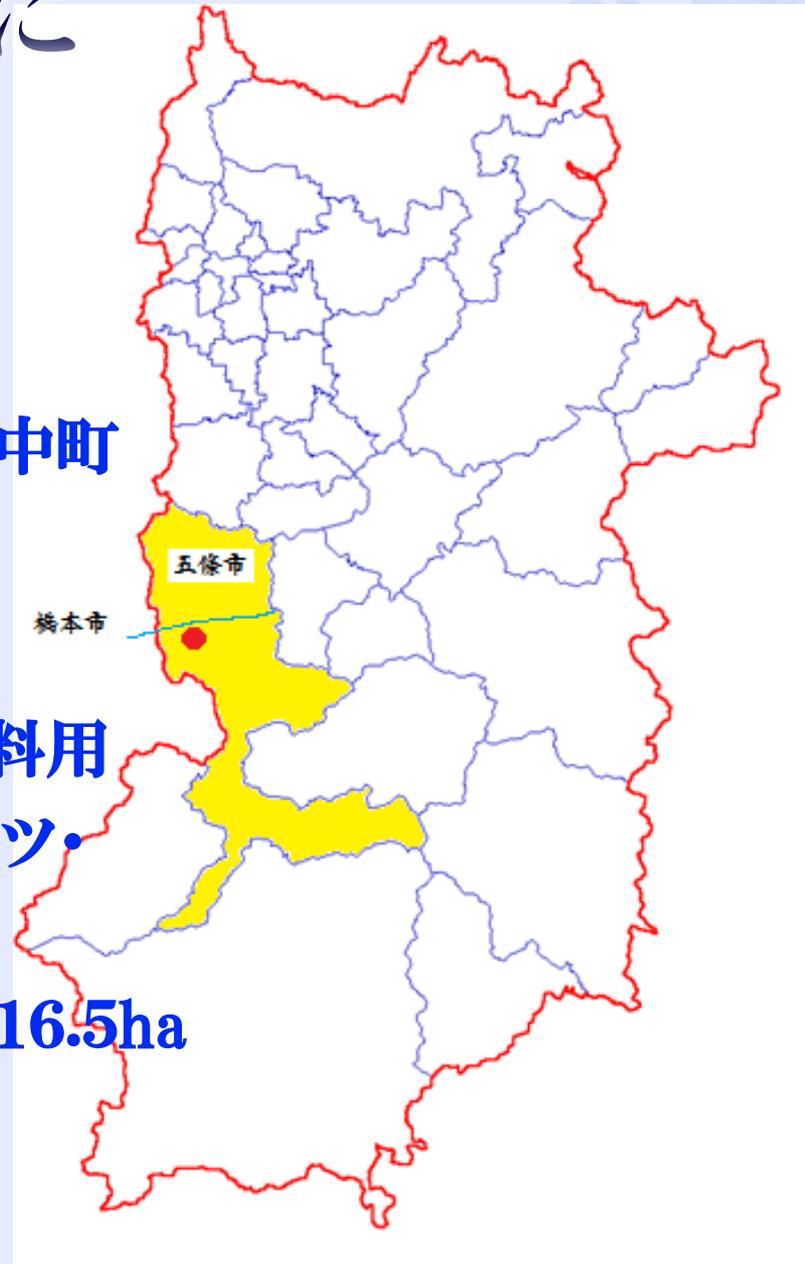
組合員数：**64名**

経営規模：**23ha** {水稲(主食用・飼料用  
米・WCS)・小麦・野菜(シソ・キャベツ・  
ブロッコリー・白菜等)}

中間管理機構からの借受面積：**約16.5ha**

27年度集積面積：**約11ha**

集積面積：**27.5ha**



# 農事組合法人「ゆめ野山」設立経緯

平成20年から圃場整備事業に取り組む  
(山陰土地改良区)

平成22年 圃場整備事業を契機に集落営農に取り組む  
(営農組合ゆめ野山を設立し、規約に法人化を明示)

平成26年12月 農事組合法人ゆめ野山を設立  
(26年に圃場整備がほぼ完了)



整備前



圃場整備

整備後



# 法人設立で苦勞した点・工夫した点

- ◆ 集落営農ゆめ野山がスムーズに運営でき、規約の中で法人化を前提(圃場整備完了時)として進めたことから、大きな問題もなく法人化に取り組めた。
- ◆ 法人化のメリット・デメリットにつき、先進地視察等を行い意見を聞き、県・市等関係機関のアドバイスを受けながら、組合員への説明・理解につとめた。
- ◆ 収穫祭・田植後の落索等を開催し、組合員同士の親睦を図った。
- ◆ 税理事務(複式簿記)

# 農地集積について

- ◆ 法人化したことにより組合員の理解が得やすかった
- ◆ 圃場整備した農地を受委託契約し進めていたので農地中間管理機構で集約する下地が出来ていた
- ◆ 賃借料の決定には苦慮した。それまでの賃借料は10a(1反)当たり米30kg2本で10年契約のため、米の価格変動はあるが14,000円とした。
- ◆ 圃場整備はほぼ完了したが、換地業務が出来ていないため苦慮した。

# 農地集積が進んだ理由

- ◆ 圃場整備された耕作地があった
- ◆ 圃場整備と同時進行した営農組織が上手く運営できた。
- ◆ 貸手である組合員が高齢化したこともあるが、これまでの実績から信頼が生まれていた。
- ◆ 賃借料が妥当な金額であり、整備田は全て条件に関係なく同じとしたこと。
- ◆ 農地集積に取り組むメリットを説明し、理解を得た。
- ◆ 役員の皆さんが意欲と情熱があった。

# 農事組合法人ゆめ野山の取り組み

## 水稲栽培の低コスト化：疎植栽培・側条施肥



# 水稲栽培の効率化

- ◆ トラクター43馬力 2台
- ◆ コンバイン4条刈 2台
- ◆ 田植機5条植 3台
- ◆ 乾燥機 5台
- ◆ 粃摺機 1台
- ◆ 色彩選別機 1台
- ◆ 農業用倉庫 200m<sup>2</sup>



# 水稲以外の作物栽培



# 耕畜連携



ホシアオバの栽培・ワラの採取

